

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



令和5年4月28日（金） 発行人：校長 森内 秀学

「6年学習」始まっています



6年生の姿を通して、学校における過ごし方や振舞い方を学ぶ。これを、「6年学習」と言います。最も効果があるのは1年生です。6年生を兄姉のように慕っている1年生は、何でも6年生をまねします。すると、だんだん6年生に似てきます。まねした過ごし方や振舞い方は、代々受け継がれ、伝統になります。6年生はまさに、歴史を伝える「学校の顔」なのです。

そんな6年生は、毎日大活躍。写真は、掃除中の一場面ですが、絞った雑巾から

したたり落ちたバケツ周りの水を、しゃがんで拭いて見せていました。「雑巾掃除は、汚れたところを拭くだけじゃない」ということを、身をもって示しているわけです。

これに限らず、6年生は1年生からまねされるたび、知らず知らずのうちに自分を振り返ります。そして、違っていたら、自分で自分を修正していきます。人から見られ、まねされることで、学び、成長していく6年生の姿には、大人も学ぶべきことがありますよ。

栄養面から「たい」の仲間を支えます！

キャベツがよく肉料理に添えてあるのはなぜだと思いますか？そんな質問を投げかけ、栄養面から子どもをサポートしてくださっているのが、右の写真で手を挙げている方。鳴鼓小学校にご勤務で、毎週火曜日に来校してくださっている栄養教諭の今崎 奈稚（いまさき なち）先生です。

高騰する食材の値段に目を光らせながらも、栄養が不足せず、おいしい給食になるように、献立や作り方を日々工夫されている、「時津の給食の司令塔」です。

その日のメニューにちなんだクイズを出しながら軽快に栄養指導をされる姿は、さすがプロ。ちなみに、よく肉料理にキャベツが添えてあるのは、キャベツに含まれるビタミンU（別名キャベジン）が消化を助け、胃腸の健康を守るからだそうです。勉強になりますね。

